

歴史とぬくもりの りょうぜん

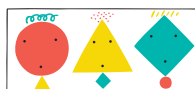
慈覚大師によって開山され、470年間南奥の霊境・仏教文化の中心地として栄え、又南北朝時代には、国府を開いたところとして有名な名峰「霊山」のふもとにひらけた伊達市霊山地域は、福島県の東部、阿武隈山系の最北端に位置し、県都福島市と相馬市に隣接している。面積87.33¹・人口は9,400人ほどの自然豊かな、歴史とぬくもりの地域である。



日本のこころ 霊山太鼓
りょうぜん

霊山町観光協会

福島県伊達市霊山町掛田字段居45
伊達市霊山総合支所地域振興課内
TEL 024-586-3402
FAX 024-586-2144



霊山こどもの村

〒960-0807 福島県伊達市霊山町石田字宝司沢9-1
TEL 024-589-2211 FAX 024-589-2210

宿泊保養施設

りょうぜん

紅彩館

RYOZEN KOSAIKAN

りょうぜん 紅彩館

〒960-0807 福島県伊達市霊山町石田字宝司沢9-1
TEL 024-589-2233 FAX 024-589-2232

冬



全国に響け轟け 霊山太鼓

霊山太鼓は、江戸時代寛文年間が始まりといわれ、信達地方（福島・伊達）で独自の発展を遂げ、継承されてきた伝統ある太鼓で、町内には約60組の太鼓が保存継承されています。

霊山太鼓の特色は、桐の太く短いばちを高く上げ華々しく大太鼓を連打する“曲打ち”にあり、全国的にみても勇壮活発なうえに技巧的で華やかに磨きあげられた祭囃子の代表的な型だと評価されています。曲目には「通り囃子」や豪快で華やかな「打ち囃子」、しっとりとした「中切り」など変化に富む十数曲を伝えています。

霊山太鼓は、350年を超える歴史があり、代々打ち継がれてきた太鼓でありながら、いつ聴いても新鮮であり、聴衆の心を魅了して離さないのは不思議です。

曲はもちろんのこと、打ち手の姿にもご注目いただければ、伝承太鼓である霊山太鼓のすばらしさが、一層おわかりになるものと存じます。

一大イベント 霊山太鼓まつり

町内各地には、60組を超える太鼓が保存され、その数の多さからみても、先人達の次代への伝承する姿勢や、祭りに対する熱狂さがうかがえ、その気質は現在に引き継がれています。

毎年開催されている『霊山太鼓まつり』には、30組を超える太鼓が集結、総勢700名の打ち手が一堂に会します。ことに一斉に打ち鳴らす“同時打ち”は勇壮華麗であり、雷鳴のごとく大地をゆるがす様は観衆の心をとらえ、感動を与える一大イベントとなっています。



霊山太鼓の演奏曲目

- ・陣太鼓 ・始めの太鼓 ・通り囃子 ・打ち囃子
- ・中切りの太鼓 ・早中切りの太鼓 ・宮入りの太鼓
- ・甚句（盆踊りの太鼓） ・納めの太鼓

太鼓1組は、大太鼓1・小太鼓2・笛・鉦で構成。人数7～10名。
一回の演奏時間は、約15～20分。

祭りはやしの起源

西暦863年（平安時代）京都で怨霊を追い払うために笛・太鼓・鉦を中心に舞いをまっただといわれています。

これが、祇園祭の起源であり、祭ばやしの誕生でもあったわけです。当時の太鼓は、物静かで素朴なものであったと想像され、時代が進むにつれて、華やかになってきました。



春

夏

秋